

拝啓 今年も早や4月末となりました。いつもエンカウンターをお読み頂きありがとうございます。桜もすっかり若葉となり、今はハナミズキが青空に向かってピンクや白の花を咲かせています。新緑のきれいなことにも感動します。

今回から、内村鑑三先生の『統一日一生』からの引用をお送りします。内村先生の『一日一生』は、エンカウンターを出し始めて早い時期、 年から年まで、 回にわたり、掲載しました。『統一日一生』は、昭和39年に教文館から出版された本ですが、前書きによれば、「第1の一日一生は、発行以来40年間絶えざる売れ行きを示し、幾万の人に日ごとにひもどかれ、幾千の家庭で朝ごとに読まれている。この度、新しく刊行された教文館版の内村鑑三全集の編集に携わった編者らは、更にこの精神を発展させて時代に適応する新しい第2の『統一日一生』を編集することを適当と信じて、ここに本書を世に送ることとした。」とあります。昭和39年が初版ですが、今では手に入りにくい珍しい版かもしれないと思います。

すぐる一月の間は、3回も旅行を致しました。第1は4月上旬津山行きで、土岐隆が遺していた2種類の鉄道雑誌を段ボールで約70箱、全国の8つの小さい鉄道博物館に寄贈するためのトラック便の発送をしました。丁度津山のお城の周りの桜が満開で、見事な花見をすることができました。

第2は、タイに住んでいる二男の家族が、家に泊まり、4月中旬一緒に諏訪湖へ旅行しました。諏訪湖も丁度桜が満開でした。以前諏訪湖のほとりに泊った時、諏訪湖から穂高連峰が見えることに気が付いていましたが、今回は、よく晴れていて、しかも残雪でくっきり見えたので、散歩をしながら確認しました。奥穂高岳(3192m)、涸沢岳、北穂高岳、涸沢カールが見えました。さらに湖畔を東の方向へ歩いて行くと槍ヶ岳の穂先らしいピーク、常念岳が見えました。次男一家は、諏訪湖の後大鹿村に泊りましたが、山村の風景を充分楽しんだようでした。

私はいったん横浜に帰り、翌日箱根の金時山に登り、大学時代の山の仲間と箱根のホテルに1泊、翌日雨だったので、ハイキングはやめて、芦ノ湖を船で元箱根に渡り、成川美術館に行きました。平山郁夫、東山魁夷などの日本画の名作が結構沢山あり、しかも芦ノ湖を見下ろす展望のよい場所に建てられている美術館で、思わぬ豊かな一時を過ごすことができました。

皆様もどうかお身体ご自愛のうえ、お過ごしください。

敬具

平成28年4月25日

山口周三

エンカウンターの読者各位